

日本学術会議公開シンポジウム「昆虫分類学の新たな挑戦」

主催：日本昆虫科学連合、日本学術会議農学委員会応用昆虫学分科会

協賛：日本分類学会連合・文部科学省科学研究費新学術領域「生物多様性を規範とする革新的材料技術」

日時：2013年7月20日（土） 13:00～17:45

会場：九州大学 箱崎旧工学部本館大講義室

<http://www.kyushu-u.ac.jp/access/map/hakozaki/hakozaki.html>

参加費：無料

事前登録：不要

URL：<http://www.insect-sciences.jp/symp/sy2013.html>

プログラム

開会（13:00）

I 日本昆虫科学連合活動報告（13:05～13:15）

藤崎 憲治（日本昆虫科学連合代表、日本学術会議連携会員）

II 日本学術会議応用昆虫学分科会活動報告（13:15～13:25）

嶋田 透（東京大学大学院農学生命科学研究科、日本学術会議第二部会員）

III 講演（13:25～17:05）

1) Revealing Insect Diversity with DNA Barcodes（13:25～14:10）

Dr. Paul D. N. Hebert（University of Guelph, Canada）

2) 捕食・被食系分析ツールとしてのDNAバーコーディングの可能性（14:10～14:30）

前藤 薫（神戸大学大学院農学研究科）

3) 遺伝子診断法の微小農業害虫同定への利用（14:30～14:50）

土'田 聡（農研機構果樹研究所）

4) 病害昆虫の侵入と蚊媒介性感染症流行の可能性について（14:50～15:10）

比嘉 由紀子（長崎大学熱帯医学研究所）

5) 生物多様性情報の収集、共有と活用（15:25～15:45）

伊藤 元己（東京大学大学院総合文化研究科）

6) 日本の基盤資源としての昆虫標本の収集・収蔵とデータベース構築の現状（15:45～16:05）

多田内 修（九州大学大学院理学研究院、日本学術会議連携会員）

7) 博物館標本を基軸とした分類学人材養成：パラタクソノミスト養成講座の実践（16:05～16:25）

大原 昌宏（北海道大学総合博物館）

- 8) 昆虫分類学の出口としてのバイオミメティクス (16:25~16:45)
野村 周平 (国立科学博物館)
- 9) 生物画像から工学的「きづき」を生み出すバイオミメティクス・データ検索 (16:45
~17:05)
長谷山 美紀 (北海道大学大学院情報科学研究科)
- IV 総合討論 (17:05~17:45)
閉会 (17:45)

懇親会

日時：18:00~

会場：九大五十周年記念講堂 2F ファカルティクラブ

会費：¥5,000 (予定)、学生 ¥2,500 (学生料金での参加は事前登録者に限る。)